



2020-2021年度  
国際ロータリーのテーマ

## ロータリーは 機会の扉を開く

RI 会長  
ホルガー・クナーク

第2720地区ガバナー	硯	川	昭	一
第2720地区ガバナーエレクト	大	森	克	磨
大分第3グループガバナー補佐	白	杵	徳	二

## 第2720地区 大分第3グループ 別府東ロータリークラブ

例会日：毎週木曜日 12時30分  
例会場：ホテルサンバリアアネックス(1・2・3週)  
杉乃井ホテル(4・5週)  
事務所：別府市西野口1番1号  
〒874-0931 (青山通りビル3階)  
TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
E-mail: jigoku@beppu4rc.jp  
http://www.beppuhigashi-rc.jp/

会長 檀上 陽一 幹事 笠木 隆弘

VOL. 42 - No.12 2020年10月1日

## 第1978回例会

公共イメージ委員長 西 貴之



由布院の秋

### “生涯を通じて わかりあえる友を増やす”

別府東RC 会長テーマ

■ 点 鐘 12時30分

■ ロータリーソング 奉仕の理想

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

■ ゲスト

■ ビジター

#### ■ 出席報告 委員長 一力 秀次

本	会員総数	45名	ゲスト	0名
	出席数	25名	ビジター	0名
日	欠席数	13名	出席率	65.79%

出席規定免除(b)：岩瀬、樽谷、杉本

緊急特別措置適用により免除：4人

#### ■ メイクアップ

事後 尾方 (別府北)

#### ■ 欠 席

安部、阿南、石田、川本、河野、榎田、二宮(秀)、  
岡本、太田、高橋、詫磨、梅津、山下(唱)

#### ■ 会長の時間

会長 檀上 陽一

会長就任から3ヶ月を経てようやく慣れて来ました。会長の時間は何か面白い事をと心がけておりますが、なかなか板に付かず、お聞き苦しい点、お詫び申し上げます。コロナウイルスで思った奉仕活動も展開出来ません。全てコロナの影響ではありませんが、全世界的にこの病魔を恐れつつも人々の「精神力」の停滞や低下が長時間にわたり継続されております。この状況を打破するために、私は今こそ別府東RC会員相互の融和、親睦を第一義に考え行動する方針を皆様とともに共有したいと考えております。戦争や災害など内憂に晒された状況は、戦闘員の士気を鼓舞する為に、相互の理解を深めるため食事をともにするいわゆる同じ「釜のメシ」が最も有効な手段の一つであります。この年度は親睦を基調とした会員相互の理解深まる活動に重きを置きたいと願っております。

今期は梅野保さんを親睦委員長に、この領域ではベテランクラスとなった二宮秀行さんを副委員

長にご就任頂き、当初の3ヶ月は素晴らしい親睦活動を展開頂いております。更なる進化と拡大充実にお力添えを頂きますようお願い申し上げます。また食事会場となります会員企業各位におかれましては平素より心温まる別府特有のおもてなしに心より感謝申し上げますとともに、愚生の要望を受け止めて頂き東クラブ発展の礎と受け止めて頂きますよう伏してお願い申し上げます。よろしくようお願い申し上げます。

末尾ながら、来る17日野口原グラウンドで開催されます7クラブソフトボール大会は火男火売神社御神前にて必勝祈願祭を催行し、15日は必勝壮行会で決起します。ホストの別府クラブは6クラブ合同例会で多くの出席を頂いた御好意（義理）があります。東クラブは多くの参加、応援をもって大会を支えたく存じます。改めまして皆様のご支援ご厚情をお願いいたします。

#### ■ 幹事報告 幹事 笠木 隆弘

1. 「2021-2022年度青少年交換」の募集案内が届いておりますので、本日回覧しております。詳しい募集要項が必要な方は、太田青少年奉仕委員長へお声がけください。

2. 「近隣7RC親睦ソフトボール大会」必勝祈願壮行会開催のお知らせ

来る10月17日(土)開催予定の「第37回近隣7RC親睦ソフトボール大会」に向けソフトボール大会壮行会を下記の日程で開催致します。多数のご参加をお願い致します。

日時 令和2年10月15日(木) 18:30~

場所 滋味創菜 百膳の夢 本家

別府市東荘園2丁目1組 0977-22-7100

会費 6,000円 (うち2,000円は親睦委員会より補助)

3. 例会変更のお知らせ

大分RC 10月13日(火)の例会は、時間・場所変更の為 同日12:00~12:40 トキハ会館にてメイクアップ受付いたします。

湯布院RC 10月13日(火)の例会は、早朝例会のため 同日6:30~ 場所未定に時間・場所変更いたします。

大分城西RC 10月14日(水)の例会は、時間・場所変更の為 同日12:00~12:40 大分オアシスタワーホテルにてメイクアップ受付いたします。

別府北RC 10月14日(火)の例会は、例会場の都合により 同日12:30~ 杜の湯リゾートに場所変更いたします。

大分東RC 10月15日(木)の例会は、休会いたします。

大分南RC 10月16日(金)の例会は、時間・場所変更の為 同日12:00~12:40 トキハ会館にてメイクアップ受付いたします。

4. 本日、11:45~ ホテルサンバリーアネックスに於いて「第4回定例理事・役員会」を開催致しました。

5. 次週(10月8日)の例会予定  
「相続と相続税」 甲斐文明会員

6. 今後の例会予定  
10月15日 「青少年奉仕について」  
太田直希 青少年奉仕委員長  
22日 「会員卓話」  
竹内孝夫会員  
29日 「新入会員歓迎会」

7. 本日の回覧

- ①10月8日例会 出・欠席
- ②10月15日例会 出・欠席
- ③ソフトボール大会必勝祈願壮行会 出・欠席
- ④2021-2022年度青少年交換生募集案内
- ⑤くまもと復興映画祭2020のご案内
- ⑥米山学友の群像
- ⑦ロータリー米山記念奨学会 2019年度事業報告書
- ⑧米山梅吉記念館 館報2020秋号 Vol.1.36
- ⑨アルゲリッチ芸術振興財団主催公演チラシ (ピノキオコンサート、室内楽シリーズ)

8. 本日の配布

- ①週報 No.1976、1977
- ②米山豆辞典

#### ■ お祝い

結婚記念日 津末 法良会員 (10月7日)

\*ご自宅に特選豊後牛肉をお届けします。

#### ■ ニコボックス 委員長 赤嶺 リサ

○一力秀次会員 別府市消防団8分団2部の副団長になりました。実は4月からの予定でしたが、コロナ禍で大変おそくなりやっとなり辞令がとどきました。5口。

○中塚茂次会員 明日10月2日から4日まで夢珈(ゆめか)別府店でスペシャルティコーヒー豆半額セール開催します。おいしい洋食カフェも大好評!! みな様のご来店お待ちしております。どーでもいいことですが、鶴嶺会副会長に就任しました。ちなみに榊田 浩君は常任監事です。3口。

○赤嶺リサ会員 10月に入りました。1ヶ月がとても早く感じる今日この頃です。今年もあと3ヶ月で終わってしまいますが、例年ならこの時期にそろそろ入ってくる忘年会の予約も残念ながら手帳は埋る事はありません。しかし本日檀上会長より親睦大事と力強い温かい言葉を

頂きました。ありがとうございます。大変な中ではありますが、しっかり頑張っていきたいと思います。今年も又、ニコボックス宜しくお願い致します。本日、ソフトボール練習との事。皆さんしっかり柔軟体操してケガのない様に頑張ってください。2口。

## 米山梅吉翁について



### 立川 諭暢 米山奨学委員長

皆さん、米山奨学会で米山さんを知っていても米山さんがどんな人だったか、ロータリー財団の創業者、三井銀行の頭取、三井信託銀行の創業者で社長という事は、ご存知と思われませんが、米山さんの人となりをお話したいと思います。

米山梅吉さんは、明治元年2月4日に東京芝田村町で、士族・和田竹造の三男として生まれております。お母さんは、伊豆三島神社の娘さんです。田村町には当時、田村屋敷というのがあって、その跡に今でも「浅野長矩切腹の地」という碑が立っています。この周辺は、江戸城に最も近いという事だったので、旧幕府時代には侍が多く住んでいました。すぐ近くには、やはり赤穂義士に関係のある「仙台屋敷」というのもありました。乃木大将も、この界隈で生まれたといわれています。お父さんの和田竹造は、大和高取の藩士でしたが、何石の禄を食んでいたかは分かりません。侍は百石侍といわれていて、百からの物の数に入るといわれていました。維新後は、足軽も士族になりましたが、足軽は国許の仲間屋敷に住んでいるので、江戸に出て田村町に住んでいたという事は、相当の侍だったと思われるわけです。お母さんも由緒ある三島神社神官の娘だったので、米山さんはその頃としては、最も教養のある家庭に生まれたこととなります。お父さんが5歳の時亡くなったため、米山さんはお母さんの実家・三島に帰り、映雪舎という富士山の真正面に見える小学校に通っていました。神童の誉が高かったといわれる彼は、長泉村の米山家という家に懇望され

て12歳の時に養子となったのです。米山家は駿河の今川家の旗本でしたが、帰農した地主さん・村長さんもやった家でした。(米山家の一人娘の春子さんが後の米山夫人)その後、沼津中学に入り、頭が良く明るく同級生にも愛される少年だったといえます。何事にも積極的で、特に全国で売られていた『穎才新誌(さいさいしんし)』という雑誌に投稿を始め、夏目漱石と米山さんの文が1番多く載せられたとのこと。「このままで行くと自分は旧家の地主として一生を終えるに違いない」と疑問を持ち始め、悩み出したのです。梅吉少年は、文章に自信があり、政治に興味を持ち、演説も上手でしたので、新聞記者に憧れていたのです。そして遂に、明治16年12月、黙って家を出て1人で箱根の山を越え、横浜まで歩き、そこから新橋まで鉄道に乗り、3日かかりで東京に着いたのです。東京に出て、銀座の江南学校に入学しました。しかし、もっと深い勉学を目指して、漢学者の土居光章先生の書生になります。土肥先生は頼山陽の孫弟子で、沼津中学校時代に政治の演説を聞いた先生でした。しかし梅吉青年は、漢学よりもっと新しい学問をしたいと思い続け、1年足らずの間でしたが、井上馨の娘婿・藤田四郎氏と親しくなり、これが20年後の三井銀行入社へのきっかけとなるわけです。

アメリカに行けばさらに新しい学問が出来るので、明治19年、青山の東京英和学校(現在の青山学院)に入学します。ここで米山梅吉さんは、本多庸一先生の教えを受け、アメリカ行きを決意するのです。そして米山家との理解も得て、親兄弟にあたたかく見送られ、アメリカに出発するのです。明治21年、メソジストの福恩会を頼ってアメリカに渡り、ベルモント・アカデミーという高校に入り、オハイオ州ウェスレアン大学、ニューヨーク州のシラキュース大学で法学を勉強し、8年間の苦学の末、帰国します。新聞記者では当時収入が少ない為あきらめ、当時英語ので

きる人を募集していた日本鉄道会社に入社しました。この間も勝海舟のところによく出入りし、そこで榎本武揚や福沢諭吉とも交流が出来たのです。鉄道マンになったものの、安月給で生活は火の車だったといわれています。運良く、井上馨の推薦で三井銀行に入社。明治30年10月、30歳で銀行マンになりました。しかしソロバンも簿記も全く分からず、必死で金融を勉強したといわれています。生活も安定し、2年目には上役に認められ、2年間かけて欧米旅行の視察に行き、この報告は三井銀行ばかりでなく、日本の銀行の指針として今でも重用されているといわれています。その時、勝海舟の推薦で大臣秘書官にと誘いもあり、本人も大いに魅力を感じたが断ったそうです。三井銀行の常務取締役となり、第2次・桂太郎内閣の時、大隈重信・渋沢栄一と会合を持ち、いつの間に「三井の米山」ではなく、日本経済界の長者の1人にみなされるようになりました。

大正3年、47歳の時、『新隠居論』という論文を発表、「若い人に仕事を譲って公共の事業について欲しい」という考えを呼び掛けております。昭和6年10月から4ヶ月、日本帝国政府特派経済委員としてアメリカに行き、帰国後、大正天皇より金盃を授与させています。大正9年の53歳の時、日本ロータリークラブを作り会長となり、我が国にロータリークラブが生まれたことは、皆様ご存知だと思います。大正10年、ご長男が20歳で、昭和元年に次男・駿二氏が21歳で亡くなり、その失望は大変だったといわれています。三男の桂三氏は慶応大学の教授をなされ、今でもご健在です。大正13年には、日本で初めての信託会社、三井信託株式会社（三井信託銀行）を創立し、取締役社長を務めています。昭和9年、三井財閥の寄付で、社会事業や文化事業に役立つための「三井報恩会」を作り、理事長となったのです。当時のお金で3,000万円と言われ、今の100億円以上の価値といわれています。

昭和13年には、貴族院議員に勅選されていま

す。米山さんは、ダンディーで黒っぽい背広に黒い靴という服装が多く、背広はよくブラッシングがかけられ、ズボンの折り目も正しく、行動も実に紳士であったと言われていました。そして、時間にも非常に厳しい方でした。また青山学院の院長就任を頼まれた時は、他の仕事もあって「その任ではない」と断っています。幼児小学校教育にも熱心で、青山学院初等部として寄付した緑岡小学校も私財で創立し、『人々にしてほしいとあなたが望むことを人々にもその通りにせよ。』という聖書の言葉を、いつも話されていたと伝えられます。三井報恩会では、全国の癩病患者一人一人にお土産を持って訪問、ベッドも3,000台寄付、癌治療に必要なラジウムをベルギーから当時100万円を出して研究の為に輸入したり、国民病といわれた結核のためにも療養所や研究所を設立、精神病院の設立、また当時不況で貧しかった東北の農村に多額のお金を出し、息を吹き返した村も多く、ある村には米山先生の書かれた字の記念碑も立っています。また、羊毛の資源を増やすため、ニュージーランドから5,000頭以上の羊を輸入して農家に飼わせたりしています。また、多くの学問の研究・実験の為、お金を出したり協力したりと、数えきれないボランティアを行っておりました。

日本全体を見つめ、世の中の流れを考えての報恩会の仕事は、ロータリー精神を持った米山梅吉翁のリードによるもとだと思います。昭和15年、日支事変が起き、ロータリーができて20年で解散せざるを得なくなりましたが、「水曜クラブ」と名を変えて、ロータリーの精神は戦時中も続けられました。そして戦後の昭和24年の日本ロータリー国際復帰の報は、米山先生は天国で知らされたわけです。生前多くの、特にアジアの留学生や国内の苦学生に、無名で多額の援助を惜しまなかった先生の遺徳を偲んで、今、RIでも注目している「ロータリー米山記念奨学会」が生まれ、現在に至っております。ご清聴ありがとうございました。

## 日本ロータリーの始祖 (日本戦前ガバナー列伝より)



### 米山梅吉 (ヨネヤマ ウメキチ)

1920.10(大正9年)~1922.6 東京RC初代・2代会長、特別代表 福島喜三次  
1924~'26 日本初代・2代スペシャルコミッショナー(2年間)  
RI理事: 1926~'27 1年間、デンバー国際大会にて選出(アジア初)  
RI第70区1928~'31年度 日本初代・2代・3代ガバナー(3年間)  
1939.7.1~'40.9.4 日満ロータリー聯合会々長、幹事 芝染太郎  
慶応.4.2.4~昭和.21.4.28(1868~1946) 享年78才

